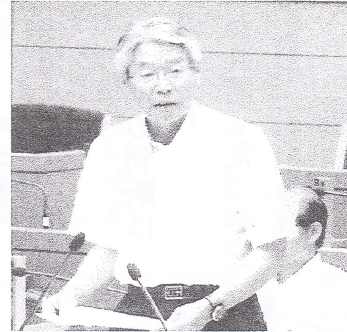


災害復旧へ、大型補正予算

Eメール: green-sakura@h8.dion.ne.jp

ブログ: [がまだす通信](#) で検索



一般質問をおこなう

災害時の通学安全対策

障がい福祉の向上、の2点

7月に発生した豪雨災害で被災された皆様にお見舞いを申し上げ、復旧・復興にご尽力された皆様に敬意を表します。

9月議会で過去最大の補正予算を組み、町全体で復旧・復興に努めてまいります。

何よりも、安心して住める地域づくりが求められています。

今後台風、豪雨、大雪、地震等、いつ発生するか予測不可能な大災害にいかに対処していくのか、防災計画の見直しも含めて検討していかねければなりません。

皆様の知恵をお貸し下さい。

一般会計補正予算

補正額 18億 5067万円

補正後の総額 96億 623万円

<主な事業予算>

- 農地農業用施設災害復旧費 1億 5169万円
- 林業施設災害復旧費 3億 3778万円
- 公共土木施設災害復旧費 1億 2927万円
- 新基山保育園建設工事 5億 4000万円
- 新基山保育園造成工事 5000万円
- その他、用地購入、設計や町道改良工事等を含め
総事業費は8億 6972万円
- 結婚新生活支援補助金 240万円
- 34歳以下の新婚世帯に対して敷金や引っ越し費用を最大30万円補助
- 旧中央公民館解体工事 3233万円
- 実松川河川改修に伴い土地・建物・立木を佐賀県に売払(総額1億4208万円)、解体費を含む

- 9月定例議会の特徴的議案(全議案とも可決・承認)
- 地方創生拠点整備基金の設置、管理及び処分に関する条例制定
- 新基山保育園建設で、国から2億9400万円交付金の基金設置
- 歴史まちづくり推進協議会設置条例の制定
- 町内の歴史的風致の維持向上のために、推進協議会を設置
- 放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準の改正
- 放課後児童支援員に係る要件を緩和して、支援員の確保を行う
- 7月豪雨災害に伴い、1億3千万円を専決処分
- 議会を開催する時間的な余裕がなく、緊急に土砂搬出・亀の甲ため池崩壊防止対策等の支出に充てた

問：災害時通学で、今後の課題は？

答：休校判断基準を従来より厳しくしたい。

一般質問は、「7月6日の大雨時の通学安全対策と今後の課題について」「障がい者（児）が平等に生活できる社会環境整備と活動できる支援策について」質問しました。

問…7月6日を休校にしなかった理由は？

答…朝の時点で、降雨状況や登校時間帯は雨が弱まる予報等と、ほとんどの学校が通常登校等を勘案し、判断をした。

問…大雨特別警報が発令される中、子ども達の安全確保の検討は？

答…下校は、事前に通学路の安全について巡視等をして、危険個所があった場合は通学路の変更や回避の指示をした。小学低学年は途中まで引率をし、中学校では保護者に時間差をつけた下校のメール配信をした。

問…下校時間帯の繰上げの判断は誰がおこなったのか？

答…各学校の校長が判断した。
問…PTA地区懇談会で、参加され

た先生からは教育委員会の判断を聞くのに下校が遅れたと言われた。教育委員会の判断を校長は待ったのではないのか？

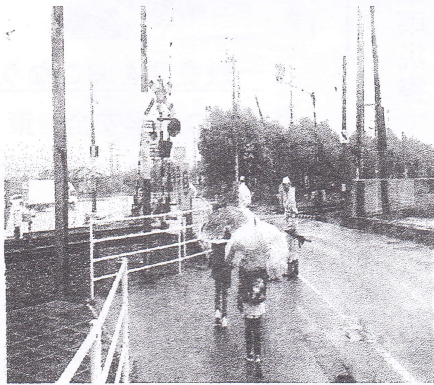
答…それは違う。教育委員会は助言する立場で判断は校長になる。

要望…先生の発言と食い違う。校長に再度確認をして頂きたい。

問…災害時通学で、今後の課題は？

答…下校の際に保護者の皆様に不安を持たせたことを考えると、休校の措置への判断を従来の考えよりもっと厳しく持たなければならなかった。

要望…人命第一で通学安全対策を。



雨の中、元気に通学する子ども達

新基山保育園建設費、決定
総額…8億6972万円

現在の基山保育園を公立・民営に分園し、民間保育園は来年の4月開園、新基山保育園はその翌年4月開園にむけて進んでいる。

9月議会で、新基山保育園の全体事業費が決定した。

今後は町民との意見交換・パブリックコメント等で、安心・安全な基山保育園建設にむけての具体的な話し合いがおこなわれていく。

まだまだ、高圧送電線による電磁波問題、調整池の安全問題、湿気の問題、健康問題、通園路の安全問題、病後児保育問題、受入れ時間の延長問題、そして働く保育士の待遇改善問題等、課題は山積している。

新園舎建設も大事だが、通う園児の心と身体の健康が最優先されなければならない。

問：障がい者雇用をどの様に進めていくのか？

答：正規職員採用に、障がい者雇用枠を設ける。

問：町行政機関における障がい者の雇用状況は？

答：法定雇用率に基づき3名（正規職員2名・嘱託職員1名）を雇用している。

問：法定雇用率（平成29年度は2.3%、平成30年度は2.5%）に達しているのか？

答：職員数のカウントミスで職員数を135人としていたが、154人だった。障がい者雇用率は1.9%になり、誤りがあった。ハローワークにも修正を報告する。

問：職員数154人に教育委員会や議会事務局の職員は含まれているのか？

答：任命者が違うので入れていない。

問：基山町の正規職員・嘱託職員を合計すると170人を超える。

基山町は、障がいの表記を例えば、「障がい者」や「障害福祉計画」等のように「がい」と「害」を使い分けています。私はすべてを「障がい」と表記するように要望しました。

これに法定雇用率を掛けると障がい者5人を採用しないといけない。早急に是正する考えは？

答：職員数の捉え方に違いがある。今後検討したい。

問：今後の障がい者雇用をどの様に進めていくのか？

答：正規職員採用に障がい者雇用枠を設けて、採用を増やしたい。

問：知的障がい・精神障がい者も採用してもらいたい。

問：障がいでの差は設けていない。要望：採用に当たっては、障がい者団体と話し合いをしてほしい。

障がい者の立場に寄り添った

支援策を！

問：障がい者活動団体への支援の充実は？

答：公共施設使用料の減免や広報等で会員募集、社会福祉協議会を通じて助成金の支給や福祉バスの使用料の減免等をしている。

問：福祉タクシー券の増加と利用を施設入所者にも適用できないか？

答：他市町の状況も参考に、今後検討したい。

問：申請で毎年同じ書類の提出等があり、簡素化の要望が大きい。更新を簡略に出来ないか？

答：出来るだけ簡素化できるように検討をしたい。

問：障がい者活動団体はギリギリの予算で活動されている。助成金の増額は出来ないか？

答：社会福祉協議会を通じて助成をしているが、活動に対しては支援をしていきたい。

要望：基山町は「愛が大きい基山町」を標榜している。

弱者にもっと愛を注いでほしい。

ふるさと応援寄附への返礼品、見直しを！

総務省は、ふるさと応援寄附制
度に対して2点の見直しを言及。

第1点…返礼品を寄附額の3

0%以下にすること

第2点…返礼品は地場産品に限

定すること

違反した自治体は制度から除
外し、寄附しても優遇措置が受け
られないように地方税法改正を
行う方針。

基山町は、平成29年度で寄附
金10億92百万円(平成28年
度5億72百万円)、基金積立は
3億86百万円で、寄附額に対す
る割合は35%になっている。

返礼品総額は5億90百万円
で54%、地場産品以外にも扱って
いる。

全国的に各自治体の取組みに
不公平感があり、見直しは喫緊の
課題になっている。

早急に見直しを検討し、議会へ
報告するように提案している。



土砂、流木に埋まった家屋

農地農業用施設には国・
県・町の補助があり、所有
者負担は全体の約3%。
しかし宅地・家屋内に流
入した土砂搬出はボラン
ティアにお願いするか所
有者個人で町道まで搬出
しなければならぬ。
全壊家屋には国の支援
金最大3百万円だけ。
被災宅地・家屋に対しても
補助を提案している。

7月豪雨被災状況

公共土木施設

町道 71 か所
法定外水路 5 か所
緑地 6 か所

復旧工事費

1億 5120 万円

家屋関係

全壊家屋 2 戸
土砂搬入 10 戸
裏山等崩壊 10 か所
建物内浸水 2 件

農地農業用施設

農地 109 か所
農業用施設 54 か所

(うち亀の甲ため池1か所)

復旧工事費

1億 7132 万円

林業施設

寺谷線、岩坪線他
合計 71 か所
復旧事業費
4億 1610 万円

全体事業費 7億 3863 万円

被災家屋へも復旧支援の制度を！

編集後記

7月6日、基山町を襲った大雨
は甚大な被害を発生させた。

基山町は避難指示を出し、町民
会館を避難場所として開放した。

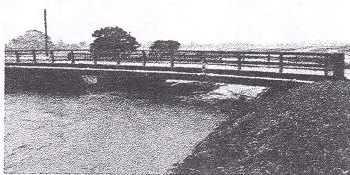
私の地元の7区は、予備避難場
所になっている7区地区公民館を
開放して地区役員で受け入れ態勢
を組んだ。(来館者あり)

地区公民館を開放したことを地
区住民に知らせる広報手段がな
く、軽トラックにスピーカーを設
置して、区長と7区中を回った。

昭和38年に秋光川が氾濫して
甚大な被害が発生したことを子供
心に憶えている。その時の恐怖が
よみがえる大雨だった。

7月豪

雨を今後
の防災・
減災に活
かしてい
かなけれ
ばならぬ
い。



水かさが増した秋光川